

学校教育課だより

かけはし



学校教育課だより  
「かけはし」  
【第8号】  
令和元年  
12月20日発行  
御殿場市教育委員会  
学校教育課

男子厨房に入ろう



学校給食課長

勝又 雅彦



唐突ですが、男性教職員の皆さん、料理していますか？「料理なんて面倒だし、だいたい男が料理なんて」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、たしかに少し前まで「男子厨房に入らず」の言葉通り、男性がキッチンに立つなんてみともない、そんな時代もありました。しかし、時代は変わり、今や料理ができる男性がかっこよく見られる時代なのです。私、料理が得意なんだと言って、女性から引かれることはありません。

さあ、料理の扉を開き、「令和のイケメン」への第一歩を踏み出して、第二の速水もこみちを目指して行きましょう。思い立ったが吉日、校長先生も教頭先生もベテラン、若手も全ての男性教職員が早速料理にチャレンジしてみましよう。チャレンジするレシピは、カレーライスをお勧めします。市販のルーを買ってきて箱に書いてある通りに調理していけば、初心者でも簡単に作れます。材料を切って、炒めて、水を入れ、煮込んで火を止め

カレールーを入れるだけなので、初心者でもまず失敗しません。

ただし、市販のカレールーでも美味しく作れますが、学校給食課では平成二十七年年度から学校給食で提供している、特定原材料七品目を使用せず、小麦粉の代わりに「こてんばコシヒカリ」の米粉を使用した「こてんばこめココレー」を御家庭でも味わっていただけるよう、十一月一日から「こてんばこめココレー粉」の販売を開始しました。販売場所はJAフアーマーズ御殿場をはじめ市内十ヶ所で、価格は税込四五百円となっております。数量限定販売ですのでお早目にお買い求めください。調理し、給食で提供された際、クラスの子供たちに先生は「こてんばこめココレー」作ったことがあると話をしたら、きつ

と、子供たちは先生に尊敬の眼差しを向けることでしよう。以上「こてんばこめココレー粉」の宣伝をしましたが、料理が初心者マークの男性教職員でも作れる簡単おつまみレシピをご紹介させていただきます。

レシピ

★フチトマトの

豚肉巻き★

材料(2人前) フチトマト6個、豚バラ肉スライス100gくらい、塩コショウ

(作り方) フチトマトに豚肉を巻いて、巻き終わりに爪楊枝を差し、塩コショウをシアルミホイルに乗せ、オーブントースターで約7分位焼く。

レシピ2

★餃子の皮ヒザ★

材料(2人前) 餃子の皮6枚、ケチヤップ60g、ヒザ用チーズ60g、ウインナー2本、ツナ缶40グラム  
(作り方) 餃子の皮にケッチャップを塗り、1cm位に輪切りしたウインナーとツナ缶を寝かせ、その上にチーズを散らし、オーブントースターで約4分くらい焼く。

是非作ってみて下さい。男

性が料理を作るようになれば、キッチンには笑顔の花が咲きます。料理人が作るような難しい料理を作らなくてもいいのです。奥さんや子供、恋人などが笑顔になるような、やさしき溢れる愛情いっぱいの一品が作ればいいのです。

御殿場市教育委員会

指定研究発表会「道徳教育」

指導主事 中西 直子

去る十一月十三日に、平成二十九年より三年間継続して行った高根小・中学校の「道徳教育」研究発表会が行われました。

これからの新しい社会を生き抜くために必要な資質・能力の育成において、要となるのが道徳科の授業です。当日の公開授業では、他の意見をよく聞き、多様な価値に触れ、問題とされる価値について自分事として捉え、向き合い「考え・議論する」子供たちの姿を見ることができました。

この研究が私たちに示唆してくれたことはたくさんありますが、特に、一つの道徳の授業の型を提案してくださったことには、大きな意味があります。小学校では、「新学習指

導要領が示す主体的・対話的な学びを率先して取り入れた授業を実践しています。登場人物に共感できる点やできない点等、子供の潜在的価値を引き出す問いから始まり、お互いのズレについての話し合いを経て「手紙等の振り返りを通して自己を見つめる授業を公開されました。中学校では、反転型学習を取り入れ、資料を読み取ったあとの、自分事として考える時間を充実させ

た授業を公開されました。書く時間を極力減らし、子供の思考止めない配慮を行い、子供の思考を整理するための板書を心掛けていました。

試行錯誤の三年間であったとは思いますが、「授業づくりが楽しい」と笑顔で話す先生方の姿が、この研究成果を物語っていると思いました。研究に際し、御尽力いただきました諸先生方には深く感謝申し上げます。

教育センターだより 風薫る

子供が主体的に取組む学習を目指して

指導員 鈴木 貴子

来年度から実施される、新学習指導要領改訂に基づいて、「主体的・対話的で深い学び」ということがさかんに言われています。この中の「主体的学び」については、

- ・学ぶことに興味・関心を持つ。
- ・学習の見通しを持って粘り強く取り組む。
- ・自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる。

ということが大切になってきます。どの先生方も、子供が主体的に取り組む授業を日々模索し、教材研究を深めながら取り組んでいることと思えます。そこで、四月からの若い先生方の実践の中で、子供たちが夢中になって取り組んでいる姿が見られた授業、見通しを持ちながら、真剣に課題に向かって取り組んでいた授業を紹介します。

▼原里小学校 池田乙羽先生  
の二年生生活科「わたしたちの野さい畑の授業は、自分たちが育てた野菜について、もつと興味・関心を持ってもらおうと計画した授業でした。

乙羽先生に、夏休み絵手紙が届きました。それは、「野菜には、深く野菜と沈む野菜があるのですが、なぜですか？」という内容でした。そこで先生は、これを課題として子供たちに投げかけました。

先生が絵手紙を読むと、子供たちは、「えっ？」と驚き、そんなことは考えたこともなかったという顔をしました。今まで自分たちが育ててきた、サツマイモ・オクラ・トマト・ピーマン・ダイコン・ニンジン等を目の前にしながら、積極的に予想を述べます。

「丸いのが浮かんて、細長いのが沈むと思う。」「細長いっていうとオクラも沈むの？オクラは軽いから浮く。重い物が沈むと思う。」「甘くおいしいものが沈む。」「まずいものは浮くの？」「先生、実験してみたい。」「という子供もからの声を待っていたように、先生は、ペランダに子供たちを連れて行きます。そこには、水

を張ったたらいが並んでいました。子供たちは、目を輝かせながら実験します。ところが、予想に反して、トマトが沈みダイコンが浮いてしまいました。「おかしい」と、子供たちは隣のグループの様子を聞きに行きます。でもどのグループも結果は同じでした。

その後、深く野菜と沈む野菜の仲間分けをしました。先生は、野菜が畑になっている写真を見せ、子供たちは、浮く野菜は地面の上に育つもの、沈む野菜は地面の下に育つものが多いことに気が付きました。「ダイコンは、首が地面の上に出ているから浮くのかな？」と、子供の疑問はまだまだ続きます。また、ゴーヤやレンコンも試してみたいなど、今日の授業にとどまらず、家での実験にまで、子供の興味・関心は高まっていました。

▼玉穂小学校 滝口絵理先生の四年生国語(ごんぎつね)の授業は、絵理先生が教材研究に力を入れた授業でした。先生は、有名なこの物語を、子供たちにじっくり考えさせたいと思いました。

①単元構想をしかり立てる  
一時間ごとの目標と授業内容

容をノートに細かくまとめていきました。授業では、毎時間「ごんと兵十の心メーター」を表すことと、「ごん日記」を書くことを取り入れました。最後には、ごん日記を一冊の本にすることも考えました。

②子供の側立ちた課題提示  
子供たちに、疑問に思ったことや勉強したいことを短冊カードに書かせ、段落ごとまとめて教室に掲示しました。課題をこの中から取り上げることで、子供たちは課題を自分事として捉え、積極的に取り組む姿勢が見られました。また、次はどんな課題で学習するのか、見通しを持つこともできました。

③前時までの学習を振り返る  
教科書を拡大した模造紙に、学習したことを書き込んで掲示しました。学習のつながりを意識して学習すること、子供が根拠となる意見を述べたとき、クラス全員で確認することができました。

絵理先生は、「単元構想をしかり立てて授業することは楽しい」と話していました。深い教材研究は、充実した授業を作ります。その積み重ねが、子供たちの学力向上につながっていくと感じました。